

(別紙)

被告サービス説明書 1

1 被告サービス 1 は、被告のウェブサイト（URL は省略）において顧客に対して提供されている「サイクル注文」という FX 取引管理方法である。

被告サービス 1 は、日本円／米ドルなどの相場価格が変動する通貨ペアの売買取引を被告サーバ上で管理している。被告サーバは通貨ペアの相場価格を随時取得している。

2 被告サービス 1 においては、その新規注文画面において、米ドル／日本円などの売買を希望する通貨ペアの種類（「通貨ペア」）、「ポジション方向」などをユーザが選択し、「計算」ボタンをクリックすると、クリック時の相場価格が購入価格として表示され、また当該価格より 0.5 円高い販売価格が表示される。

また、上記クリック時の相場価格より安値側に 0.5 円ずつ安い購入価格が三つ（クリック時相場価格と合わせて計四つ）表示されるとともに、これらの購入価格より 0.5 円ずつ高い販売価格が表示される。

また、同画面には注文を行うポジション数も表示される。

3 同画面で「注文」ボタンをクリックすると、被告サーバに 4 組の注文情報が生成され記録される。

4 被告サービス 1 においては、こうして生成、記録された注文情報について、買い注文の購入価格と相場価格とが一致し、次いで売り注文の販売価格と相場価格とが一致することで買い注文と売り注文とが約定した場合、次の注文情報群の買い注文情報を有効とし、約定した買い注文と同じ購入価格における買い注文の約定と、約定した売り注文と同じ販売価格における売り注文の約定とが繰り返し行われる。

(別紙)

被告サービス説明書 2

1 被告サービス 2 は、被告のウェブサイト（URL は省略）において顧客に対して提供されている「i サイクル注文」という FX 取引管理方法である。

被告サービス 2 は、日本円／米ドルなどの相場価格が変動する通貨ペアの売買取引を被告サーバ上で管理している。被告サーバは通貨ペアの相場価格を随時取得している。

2 被告サービス 2 においては、その新規注文画面において、米ドル／日本円などの売買を希望する通貨ペアの種類（「通貨ペア」）、「ポジション方向」などをユーザが選択し、「計算」ボタンをクリックすると、(1) クリック時の相場価格が購入価格として表示され、また (2) 当該価格より 0.62 円高い販売価格及び (3) 2.48 円安い販売価格が表示される。

また、同画面には注文を行うポジション数も表示される。

3 同画面で「注文」ボタンをクリックすると、被告サーバに買いの成行注文、上記 (2) の販売価格の売りの指値注文、上記 (3) の販売価格の売りの逆指値注文を行う注文情報が生成され記録される。

4 被告サービス 2 においては、取引開始時に買いの成行注文が行われるとともに、上記 (2) の売りの指値注文が有効とされる。

当該売りの指値注文が約定されたとき、次の上記 (1) の購入価格の買いの指値注文、上記 (2) の販売価格の売りの指値注文、上記 (3) の販売価格の売りの指値注文の注文情報群の生成を行うとともに、上記 (1) の買いの指値注文を有効にする。

以後、被告サービス 2 では、上記 (1) の買いの指値注文の約定と、指値買注文の約定が行われた後の上記 (2) の売りの指値注文の約定と、当該の売りの指値注文の約定が行われた後の、次の注文情報群の生成とが繰り返し行われる。